

## 農會法案特別委員會議事速記錄第一號

委員氏名

委員長 侯爵佐佐木 行忠君  
副委員長 玉利 喜造君  
伯爵吉井 幸藏君子爵板倉 勝憲君  
仲小路 麟君  
男爵坪井 九八郎君 健之助君  
山田 欽君

大正十一年三月十一日(土曜日)午後一時三十八分開會

○委員長(侯爵佐佐木行忠君)

開會イタシマス、農商務次官ノ御説明ヲ煩シタ

○政府委員(田中隆三君)

私ヨリ極メテ大體ノコトニ亘リ

マシテ一應御説明ヲ申上ゲマス、此度ノ改正ノ根本ニナッテ居リマスコトニ付マシテハ、本會議ニ於カレマシテ農商務大臣ヨリ既ニ御話モアリマシタコトゴザイマベガ、尙ホソレヲ敷衍イタシマシテ、此度ノ法案ノ改正案ノ重ナル箇所ニ亘リマシテ、一通りノ御説明ヲ申上ゲルコトニ致シマス、先づ第一ニハ現在ノ農會法ト申シマスルノガ、極メテ簡單ナ法律デゴザイマシテ、附則ヲ併セマシテ六箇條、其中ノ又第四條ト云フノガ今日削除ニナッテ居リマスルノデ、農會法ノ實質トナナ居リマスルノハ、僅ニ四箇條ト申シテモ宜シヤウナコトデ、極メテ簡單ナモノデゴザイマシテ、其運用ハ法律ノ施行令タル農會令ト云フ勅令、又其細則等ニ依テ運用イタシ來テ居ルノデゴザイマス、此度ハ其農會等ノゴザイマスル中ニ、重要ナル事項ヲ移シテ農會法ノ部ニ規定イタシタコトデゴザイマスルシ、又多年農會ト云フモノノ實施イタシ來リマシタ農事ノ状況カラシテ、益々此農業上ノ改良發達ヲ圖ル爲ニ必要ナリト認メマス所ノ項目ヲ整ヘマシテ、此度ノ改正案ト云フモノガ出來上方々譯デアリマス、ソレカラ第一ニハ丁度第一條第三條等ニ關聯シタコトモゴザイマスルガ、只今ノ法律ニハ此會ノ目的ト致シマシテ、農事ノ改良發達ヲ圖ル爲ニ設立スルモノデアルト云フコトゴザイマス、此度ハ農事ト云フコトハ如何ニモ直接ニ農業者ノミニテ、所謂野良仕事デアルヤウナ風ニ響キマシテ、如何ニモ本會ノ目的ヲ現スノニハ適當デナイト認メマシテ、廣く農業上ノ施設等ヲ致サシムルノデアリマスカラ、所謂農業ノ改良農事ト云フ狹イ意味デナクシテ、

農業ノ改良發達ヲ圖ルト云フ意味合ノ方等カラマア性質ヲ明カニスル、今迄トテモサウデゴザイマスケレドモ、現在ノ法文ハ如何ニモ狹ク出來テ居リマスカラ、廣イ意味ニ於テ農業ト云フ言葉ヲ使ヒマス事ニナッテ、其農業ノ改良發達ヲ圖ルト云フ意義ヲ、一層明カニスル爲ニ第三條ニ於テ「其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ」ト云フコトニ致シマシテ、農業上ノ有ラユル事項、重ナル事項ヲ掲ゲマシタ譯デアリマス、尙ホ一號二號三號四號ヲ掲ゲテ置キマシタガ、其上ニモ法ノ不備ノ爲ニ農業上ノ改良幾達ヲ圖ル施設事業ガ、農會ニ於テ出來ヌト云フヤウナコトガアッテハナリマセスカラ、第五號ヲ設ケマシテ、前四號ニ掲ゲタ外ニ其ノ他農業ノ改良發達ヲ圖ルニ必要ナル事業ハ矢張農會ニ於テ施設シテ宜イト云フ、斯ウ云フ意味ニ致シマシテ、結局三條ニ依テ萬般ノ改良發達ニ關スル事業ヲ農會ニ於テ行フコトガ出來ルト云フ、斯ウ云フ風ニ致シマシタ積リテゴザイマス、尙ホ斯ル規定ヲ設ケマシタコトハ、今申上ゲタ通リニ、直接農會ナルモノノ性質ヲ明カニスル上ニ於テ必要デアリマスルダケデナインデ、尙ホ此農會ト云フモノノ、法律ニ於テ斯ノ如キ公益的ニ相當スルモノニアルト云フコトヲ明カニ致シテ置キマセヌト云フト、兎角此農會ノ性質ニ付テノ議論ガ一方ニ起リマシテ、今日マデモ農會ハ私法人デアルトカ、或ハ又公法人デアルトカ、私法人デアルト公法人デアルトニ依テ何カソレニ關スル争ガ起リマシタトキニ、民事裁判所ノ管轄ニナル、或ハ行政裁判所ノ管轄ニ行クベキモノニアルト云フ争ヒニナリマシテ、現ニ今日マデ訴訟ニナッタコトモアリマスノデ、ソレデ一般ノ學說ニ依リマスルト云ハト、農會ト云フモノハ無論公法人デナケレバナラズ、サウデアルト云フ說デハゴザイマスケレドモ、日本ノ現在ノ農會法ト云フコトハ、只今申上ゲマシタヤウナ風ニナッテ、洵ニ簡單デゴザイマス、其事業ノ性質等ヲ明カニシテ居リマセヌ、組織其他ノ事ニ付マシテモ何等規定スル所ナナイ、無論之ヲ實行スルニ付テ法則トシテハ農會法トカ或ハ施行規則ト云フモノニハ色ニナ規定モゴザイマスケレドモ、法人ガ如何ナキマシテ、如何ニモ本會ノ目的ヲ現スノニハ適當デナイト認メマシテ、廣く農業上ノ施設等ヲ致サシムルノデアリマスカラ、所謂農業ノ改良農事ト云フ狹イ意味デナクシテ、

併ナガラ茲ニ特ニ「法人トス」ト書イタグケデ、公法人デアル私法人デアルト云フマデニ亘リテ規定シテゴザイマセヌノハ、是ハドウモ一般ノ法制ノ順序デゴザイマス現在行ハレテアリマスル其他ノ法律ニ於キマシテ、唯法人トスト云フダケノ規定デアリマシテ、公私ノ區別ハ法人ノ上ニ付ケテゴザイマセヌ、其例ニ依テ單ニ法人トスト云フダケヲ書イテアリマスグケデアリマス、併ナガラ此度ノ如上ノ法律ノヤウニ、法人ノ組織其他ノ關係ニ於テ、法律自體ニ詳シク規定ガアリマスレバ、所謂公法人デアルト云フコトハ何人モ疑フ置カヌコトニナラウト思フノデゴザイマスソレカラ其次ニ申上ゲマスルコトハ、第七號ノ規定ノ改正デゴザイマスガ、現行法ニ於キマシテ第五條ノ農會ノ補助ノ爲ニ、國庫ヨリ支出スル金額ハ、一箇年十五圓ヲ超ユルコトヲ得ズト云フ規定ニナッテ居リマス、其規定ヲ改メマシテ、此度ハ政府ハ農會ニ對シ豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付スルコトヲ得ト云フ規定ニ改メマシタ、詰リ法律ハ將來長キニ亘ル準則デゴザイマスノデ、此法文ノ上ニ特ニ此金高ヲ掲ゲテ置クト云フノハ、此必要ニ應ジテ補助額ヲ増減スル所ニ、又再び法律ヲ改正ラシナケレバナラスヤウナ不便ガアル、又却テ實際ニ於テ明治三十二年ニ於テ、大體十五万圓ノ見當ヲ立て、補助金ヲ定メテ居ルヤウナコトモアリマスカラ、今日農會ト云フモノノ仕事ハ、一箇年ニ於テ段々ニ延ビテ參リマシテ、仕事ノ範圍モ性質モ經費ヲ多クスルヤウナ事情ニ立入ツテ居ルノデアリマスカラ、國庫ノ所謂財政上ノ關係ニ於テ許スナラバ、ドウシテモ是以ニ補助金ノ途ヲ開キマシテ、益々農會ノ本體ヲ發揮セシメタイト云フ、當局ニ於テモ希望ガアリマス、又豫テ各府縣農會ヨリ其筋ニ請願等モアッコトハ再々アリマスノデ、實情ニ於テ出來ルナラバ今後此金額ヲ增加イタシタイト云フ希望ヲ、農會ニ於テモ有ツテ居リマス、併ナガラ一般財政經濟ノ關係モアリマスノデ、是ハ其當時ノ豫算ニ於テ便宜ニ從テ御協贊ヲ得ルヨリ外ニ途ハナイ譯デアリマス、此度改正イタシマシタル機会ニ於テ、現行法ノ如ク狹クシテ置キマスルコトハ、國家ノ進進ヲ利益スル上ニ於テ面白クナイト云フ意味合ニ於テ、此度ノ改正ノ如ク豫算ノ範圍内ニ於テト云フ廣イ言葉ヲ用キタ譯デアリマス、附加ハテ申上ゲマスガ、詰リ近年ノ補助事業等ノコトヲ明瞭ニ規定イタシマシタノデアリマス、唯

ニ規定セラレテ居ル譯デゴザイマス、此點ニ付マシテ衆議院ニ於テハ附帶決議トシテ、希望條件ガ附イテ居リマシテ、是非政付トシテ百万圓程度ノ補助金ヲ支出シテ貰ヒタイト云フコトデゴザイマス、我國ノ農會ノ現狀、農業上ノ實際ニ照シテ必要デアルト云フコトハ、考慮ヲ要スルコトト思ヒマスケレドモ、今日ニ於テハ帝國農會或ハ府縣農會、町村農會、ソレド<sup>益</sup>、農業上ノ改良進歩ヲ圖ル上ニ於テ、各般ノコトニ努メテ居リマス、又着々功績ヲ現シツツアルヤウニアリマスノデ、今少シ之ニ補助程度ヲ擴メマシテ、十分ニ其力ヲ延バサセルヤウニ致シタナラバ、國家ノ爲ニ非常ニ仕合セデナイカト、當局ハ深ク考ヘテ居ル次第アリマス、其次ニ大日本農會ヲ組織スル上ニ於テ、會員ニ關スル規定ガゴザイマスガ、郡農會及ビ帝國農會、此二ツノモノニ付テハ從前ト所謂現在ノ法制ト變リハゴザイマセヌ、町村農會ニ於テハ現在ノ如ク國及ビ公共團體ニ關係スル：「公共團體ヲ除イテ居ルコトハ現在ト變リアリマセヌガ、唯其外ニ尙ホ必要ニ應ジテ命令ヲ以テ規定シタルモノヲ除外スルコトノ出來ルヤウナ途ヲ開イタ譯デアリマス、即チ十一條ノ規定デアリマス、町村農會ニ於テ成立<sup>テ</sup>居ルト云フ系統ノ付テハ、大體ニ於テ現在ノ通りデアリマスガ、郡農會ヲ組織セザル地方ニ於テハ、町村農會ヲ以テ直チニ道府縣農會ノ會員トスル規定ヲ設ケタノデアリマス、是ハ所謂郡農會町村農會ハ、町村會或ハ郡會ヲ以テ成立<sup>テ</sup>居ルト云フ系統ノ順序ニスルノハ當然デアリマスケレドモ、郡農會ノナイ場合ニハ、上級ノ農會ハ町村ノ農會トノ間ノ連絡ヲ如何ニスルカト云フ問題ニナル譯デアリマス、サウ云フ場合ニ町村農會ヲ矢張道府縣農會ノ會員ニスルガ宜イカ、或ハ道府縣會員カラ除外スルカ、ニウニ一ツシカ方法ハナカラウト思ヒマス、當局ニ於テハ利害ヲ攻究シ、又帝國農會等ニモ諮問イタシタ結果、此原案ノ如ク、ドウシテモ農會ハ系統的ノモノデアブ<sup>テ</sup>、上ノ施設ハ下ノ方ニ及ビ、下ノ希望ハ上ノ方ニ能ク連絡ヲ取<sup>テ</sup>改良進歩ヲ圖ラナケレバナラスト云フ關係デアリマスカラ、ドウシテモ連絡ヲ中斷サレルト云フコトハ宜シクナイ、是ハ勿論郡農會ノナイ場合デアリマスガ、斯ル場合ニ於テハ町村農會ヲ以テ、直接ニ上級ノ農會即チ府縣農會ノ會員トシナケレバナラスト云フコトニ決メタノデアリマスカラ、次ニ農會ヲ設立スルニ付テノ條件デアリマシテ、十二條ノ規定デアリマス、郡農會以上ニ於テハ會員タル農會ノ數ガ行政區劃數ノ三分ノ二ニ出ナケレバナラスト云フ事ハ、現在ノ規定デアリマス、所謂行政區劃數三分ノ二以上ノモノガ、ドウカスレバ郡農會ナリ、或ハ道府縣

農會ナリヲ造ルコトガ出來ルト云フ規定ニナ<sup>テ</sup>居リマス、カラ割出シタ三分ノ二ト云フコトニ於テハ變リマセヌケレドモ、會員ノ數ヲ以テ區割ヲ定メル、設立權ヲ定メルコトニ致シタノデアリマス、尙ホ町村農會ニ於テハ右申上ゲマシタ三分ノ二ト云フ條件ノ外ニ、尙土地ノ面積ニ關スル條件ヲ定メマシテ、現在ハ土地ハ三分ノ一、矢張三分ノ二ト云フモノヲ以テ關係所有ノ土地ノ條件ニ致シテ居リマスケレドモ、今度ハ面積ノ一分ノ一以上、三分ノ一ト云フノラ幾分緩和シマシテアリマスカラ、現在ニ於キマシテモ、年々會員中ヨリ得ル規定ヲ致シマシタ、是ハ今日ニ於キマシテモ北海道デスル土地ノ面積二分ノ一以上半數以上アレバ差支ナイ、斯タモノハ命令デ規定シテ、會員タルノ義務ヲ免除スルコトノ出來ルヤウナ途ヲ開イタ譯デアリマス、尙モ特別ノ事情アル場合ニ於キマシテハ、其條件ニ依ラザルコトヲモ歌<sup>テ</sup>ゴザイマスガ、單ニ北海道沖縄ト歌ハヌデモ、事實此原則ニ依ルコトヲ不便ナリトスル場所ニアリマシテハ、此特例ヲ設ケルコトニ致シマシテ、農會令ノ中ニ既ニ明カリニテ、概括的ニ規定致シマシタ次第デゴザイマス、次ニ強制加入ニ關スル規定デゴザイマスガ、第十六條ノ改正案デゴザイマス、大體只今申上ゲマシタ制限ニ依リマシテ、三分ノ二ナリ二分ノ一ナリノ人ノ同意ガアリマスレバ、農會ト云フモノヲ組織スルコトガ出來ル、サウシテソレニ依テ組織サレタ以上ハ、此法律ノ規定ニ合フ處ノ總テノ人ヲ強制シテ其農會ニ加入セシムルト云フコトハ、現在モ其通りデアリマスシ、今後モ無論其通りデゴザイマスルケレドモ、特ニ行政官廳ニ於テ除外スル必要アリト認メタルモノニ於テ、加入ノ必要ナキト認メタル場合ニ於キマシテハ、之ヲ除外スルコトニ法律ガナ<sup>テ</sup>居ルノデゴザイマス、ソレハ其人ノ業體等ニ依リマシテ、一面ノ理窟カラ申シマスレバ矢張農業關係者ト申シテ宜シウゴザイマスガ、又他ノ一面カラハ他ノ農業者ト共ニ強ヒテ之ニ加入セシムルノ必要ガナイヤウナ事情モ、從來ノ例ニ依リマスルト往々シテ見受ケラレルサウデゴザイマスノデ、原則ハ無論總テノ關係者デゴザイマスケレドモ、或特殊ノ事情ニ事山ノアルモノニ付マシテハ、之ヲ除外スル途ヲ開イテ置クコトガ却テ實情ニ通ズル、斯ウ云フ意味合ニ於テ十六條ノ規定ガ出マシタノデアリマス、ソレカラ其次ノ第十七條ノ規定デゴザイマシテ、各農會共ニ會長副會長ヲ會員外……會員デ無イモノカラ採用スルノ途ヲ開キマシテ又郡農會ニ於テハ今日ハ

特別會員ト云フモノハゴザイマセヌノデアリマスケレドモ、此度ハ郡農會ニモ特別會員ヲ置キ得ル制度ニ改メマシテ譯デアリマス、而シテ此會長副會長等ヲ會員外ノモノヨリスルト云フコトハ、相當是マデ議論アルコトデゴザイマドモ、會員ノ數ヲ以テ區割ヲ定メル、設立權ヲ定メルコトニ致シタノデアリマス、府縣ノ農會ニ致シマスルト府縣知事ガ會長デアルト云フヤウナコトデゴザイマスガ、是ハ現在ニ於テモ恐ラク法ノ規定トシテハ例外ニ屬スベキモノト思ハナケレバナラヌ、會長トシテ適當ナ人ガアリマスレバ、無論會員中カラ選ンデ宜イコトデ又選ブ可キモノデアリマスカラ、現在ニ於キマシテモ、年々會員中ヨリ是等ノ會長、副會長ヲ選ムト云フコトニ移リ變リハアリマス、併ナガラ又サウデ無イ處モ澤山ゴザイマス、或ハ此際思フテ有ル無イト云フヤウナ事ニ拘ラズ、モウ必ズ會員カラ之ヲ選ブト云フコトニシタ方ガ宜クハナイカト云フヤウナ論モアリマシテ、當局ニ於テハ別ニ其則ニ設ケテ置クコトガ、絕對必要デアルト云フ考モゴザイマセスケレドモ、色々ノ府縣ノ農會等ニ關スル實際ノ上カラ、帝國議會ニ於テ廣ク是等ノ關係ノ方々ガ御集リニナ<sup>テ</sup>御審議ヲ盡サレタ結果矢張實際上ノ便宜トシテノ當分原則トシテ會員ノ中カラ選ブ事ガ宜シイケレドモ、矢張會員外カラ選ブ途モ開イテ置カナケレバ却テ不便モアルシ、又都會ノ惡イコトモアルト云フコトデ、矢張は現在ノ法令ト同ジヤウナコトニ定メマシタヤウナ次第デアリマス、ソレカラ次ニ二十條ノ規定デゴザイマスガ、此町村農會所謂下級ノ農會ニ於キマシテ、總會等ニ於テ會員ガ殘ラズ集マルト云フコトハ、實際ニ於テ非常ナ不便迷惑感ズルヤウナ所モアル、第一會員タル農民ガ殘ラズ集ルト云フコトハ、集ル場所ニモ差支ヘルト云フコトモアリ又ソレ<sup>テ</sup>農務ニ從事シテ居ル人、ガ、度々招集イタシテハ仕事ノ上ニ不便ヲ感ズルコトガアル事ガアリマシタリ、又恩フ通リニ人ガ集ラヌ爲ニ、却テ開クコトガ出來ナイ、隨分必ズ農會員トシテ殘ラズ出ナケレバナラヌヤウナ風ニシテ置クコトハ、實情ニ適シナイ地方等ノ人ガ集<sup>テ</sup>町村農會ヲ開キ、農會ヲ推ヘルト云フ風ニモアルサウデアリマス、サウ云フコトハ實際ノ經驗ヲ基礎ト致シマシテ、此度ハ總代會ヲ置クコトガ出來ル途ヲ開イタ譯デアリマス、例へバ大字毎ニ何人カノ總代ヲ選ンテ、ソテハ新ニ作リマシタモノデアリマス、其次ニ經費、及び過怠金ニ關スル三十條ノ規定デゴザイマスガ、是ハ冒頭ニ申上ゲマシタ農會ナルモノ一つ公法人ト認メテ、其事業ノ性質範圍等ヲ明カニ致シマシタコトノ根本的改正ト共ニ、又

其改正ノ結果トシテ當然生レテ參リマス所ノ經費及ビ過怠  
金等ノ強制徵收ニ關スル規定デゴザイマス、今日デハ經費  
等ヲ納メナイ者ガアリマスト云フト、民事訴訟法ノ手續ニ  
依テ徵收シナケレバナラヌ事ニナツテ居リマスケレドモ、極  
メテ少額ノ經費ノ爲ニ訴訟ノ手續ヲ執ルト云フコトハ、到  
底其費用ト煩ニ堪ヘヌ譯デモゴザイマセシ、又多クノ場合  
ニ於テ此滯納者等ノ實際ヲ調べテ見マスルト云フト、經費  
ヲ納付スル力ガナイト云フ爲ニシナインデナクテ、寧ロ取  
立方法等ノ十分デゴザイマセヌ爲ニ、兎ニ角之ヲ放漫ニ付  
シテ置クト云フヤウナ實況デアリマス、ソレハ統計ノ上ニ  
モ現レテ居ルノデゴザイマス、要スルニ此徵收方法ノ手續  
ガモウ少シ規則正シク強制的ノモノニナリマスレバ、何等  
苦痛ナシニ經費等ノ徵收モ出來ルヤウ、斯ウ云フ譯デゴザ  
イマス、此度ハ矢張經費ニ付マシテハ一般ノ租稅ト同ジヤ  
カナ手續ニ致シマシテ、市町村ニ於テ之ヲ徵收スルト云フ  
ヤウナ途ヲ開キマシタ譯デゴザイマス、ソレカラ其次ニ些  
細ナコトデゴザイマスガ、唯今中上がマシタ會費以外經費  
以外ニ、其農會ノ施設トシテ生レテ參リマス、例へバ農會ニ  
於テ市場デモ設ケタト云フ時ニ、市場ノ使用料ヲ徵收スル  
ト云フコトモアルシ、又牛ナリ馬ナリノ種畜料ヲ徵收シテ  
會員ニ畜産上ノ獎勵ヲスルト云フヤウナコトナドモアラ  
ウ、サウ云フヤウナ手數料ニ屬スル者ヲ徵收シ得ル規定ヲ  
設ケマシタ、併ナガラ是ハ全ク前中上がマシタ經費等ノコ  
トト性質ノ違タ、強制的ノモノデゴザイマセヌデ、約束カラ  
出來ル、契約的ニ生ジテ來ル権利義務ノ關係デゴザイマ  
スカラ、此方ハ結局民事訴訟ノ手續ニ依ラケレバ、法律上  
其體ヲ得ナイト云フコトデ、此方ハ民事訴訟ニ依ルコトト  
致シマシタ、其他上級農會ト下級農會トノ間ノ關係ノコト  
ニ付マシテ、大キク申シマスレバ其兩方ノ間ノ聯繩關係ニ  
於ケル權利義務トデモ申スヤウナコトデゴザイマスト  
カ、又農會ノ解散ナリ合併ナリ分割等ニ關スルコトデ  
ゴザイマストカ、或ハ新舊農會法ノ經過、所謂遷り變リニ付  
テノ規定デゴザイマストカ、數箇條ニ亘テ、其邊ノ手續ト  
デモ申スヤウナコトデゴザイマスト  
ト思ヒマス  
○服部一三君 私ハ質問ヲ致シマス前ニ、政府委員ニ要求  
シタイコトガアリマスガ、ソレハ町村稅ノ課率、例へバ戸數  
割ノ附加稅トカ、地租ノ附加稅トカ、總テ町村ノ負擔スル平  
均ノカケ方分、テ居リマセウカ、ソレヲ一ツ御調ベニナツ  
ス

○委員長(侯爵佐佐木行忠君) 是ヨリ質問ヲ御許シシタイ  
ト思ヒマス

○服部一三君 私ハ質問ヲ致シマス前ニ、政府委員ニ要求  
シタイコトガアリマスガ、ソレハ町村稅ノ課率、例へバ戸數  
割ノ附加稅トカ、地租ノ附加稅トカ、總テ町村ノ負擔スル平  
均ノカケ方分、テ居リマセウカ、ソレヲ一ツ御調ベニナツ  
ス

居ルモノガアリマセウカラ、頂戴シタイソレニモウツ公  
ノ稅デナク、御承知ノ通リニ協議費ト云フモノガ町村ニア  
リマス、是ハ隨分大キナ高ニナツテ居ル、協議費ト云フモノ  
ハ殆ド稅ト同シヤウニ徵收スルモノデアリマス、ソレノ高  
モ併セテ御知セヲ願ヒマス、ソレトモウツニハ先刻政府  
委員ヨリ御話ニナリマシタ農會ノ會費ヲ納メヌ所ノ人ガア  
ル、ソレハ兎角資產ノアル人ガ納メナイト云フ御話デ、衆議  
院デモ御説明ガアッタヤウデアリマスガ、衆議院デ御説明ニ  
ナツクノハ、資產ノアル者デ納メヌ人ノ數マデ御説明ニナツ  
テ居リマスガ、總テ此會費ヲ納メナイ所ノ人ノ總數ヲ御示  
シヲ願ヒタウゴザイマス

○仲小路廉君 只今農商務大臣モ御出席ニナリマスル  
農會法ヲ審議イタシマスニ付マシテ、誠ニ必要デゴザイマ  
スカラ、今日ノ農會法ノ御提案ニ付マシテハ、是ハ前年カラ  
色々農業者ニ於テ切要ヲ認メテ居タノデアリマスガ、併ナ  
ガラソレト同時ニ又今日農村ノ負擔ハ隨分負擔が重ノイデ  
アリマシテ、種々ナ點ニ付キマシテ隨分農民モ苦ムコトガ  
多イ時デアリマス、此場合ニ從來カラ問題デゴザイマシタ、  
此農會ノ費用ヲ強制的ニ徵收スルコトガ出來ルト云フ規定  
ガ設ケラレタノデアリマス是ハ丁度今日ノ場合ニ今申ス  
ヤウナ、隨分各種ノ點ニ付テ農村ノ負擔ノ重イ場合ニ、更ニ  
斯様ナ事ガ法律デ決マルトスウナリマスト、隨分一部ノ者  
ニ於テハ負擔ノ苦ミニ堪ヘナイトカ思ヒマス、  
併シ是ガ極メテ農村ノ爲ニ必要ナルモノトナツテ參リマス  
レバ、多少ナコトデアリマシテモ之ヲ實行サルルヤウニシ  
テ行カナケレバナラヌノデアリマス、ソレニ付マンテ伺ッテ  
置キタイノハ、今日ハ實ハ農村ニ付テハ容易ナラヌ時機  
デハナイカト存ジマス、即チ各々地方ニ於ケル小作人ト地  
主トノ關係ハ、實ニ困タ狀態ニ立至ラテハ居リハセヌカト  
存ジマス、是ハ詰リ内外ノ情勢ガ自然ニサウ云フ所ニ導イ  
タノデハゴザイマセウガ、併ナガラ此コトノ爲ニ農村ハ實  
ニ不安ノ狀態ニ居ルノデアリマス、加フルニサウ云フヤウ  
ナ事柄ガ段々進ンデ參リマスルト、遂ニハ農村荒廢ノ狀況  
ヲ呈スルコトニナリ、一面ニハ食糧問題、各種ノ問題、國民  
ノ生活ニ付テ最モ大切ナ物資ノ供給、成ベク量ノ多クヲ望  
トニ致シマス、大體今申上ダマシタヤウナコトデゴザイマ  
ス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 御答方前後ニナリマスルカ  
存ジマセヌガ、先づ此法案ヲ出シマシタルコトハ、今質問ノ  
中ニアル如ク、主ニハ強制徵收デアリマスルガ、是ハ長イ間  
御承知ノ通リニ衆議院ニ請願トナリ、決議トナツテ出テ居ル  
モノデアリマスガ、是マデハ政府ニ於キマシテモ同意ヲシ  
テ參ッタノデアリマス、段々進ンテ參リマス上ニ於テ、又是  
マデ政府力執リマシタル點ニ付テモ、色々考ヘテ見マスト  
云フト、ドウモ農事ノ方ニ付テハ、是マデ兎角政府ノ方ガ總  
テ農民ニ付テ獎勵シテ、是モ政府ハ獎勵シ、ドレモ政府ガ獎  
勵スルト云フヤウナコトデ、多クノコトヲ總テ政府ハ引張  
リ廻シテ來タヤウナコトニナツテ居ルノデアリマス、本カラ  
言ツテ見マスト云フト、日本ノ國產ノ茶ニ於キマシテモ、絲ニ  
於キマシテモ、亦米麥ノ品種ノ改良、又近年ニハ產業信用組  
合ナドニ付マシテ、或ハ倉庫ヲ建ルトカ、色々シマシテサウ  
シテ來ル事ガ……殆ド總テノ肥料ト言ヒ、品質ト言ヒ常ニ  
政府ハ獎勵シテ居ルノデアリマスカラ、從ヒマシテ段々進  
シテ参ツア、年々其趣ヲ改メツツアルノデアリマス、從ヒテ矢  
張農會ノ如キ團體ガ出來テ、サウシテ矢張共同的ニ者ヲ極  
メテアルト云フ様ナル事ノ必要モ、追々總テノ方面ニ於テ  
政府ハ獎勵シテ居ルノデアリマスカラ、從ヒマシテ段々進  
シテ來ルト共ニ起ルノデアリマシテ、ソレデドヲラカト  
申シマスト云フト、ドウモ此農業ガ我國ニ於テ最モ必要ナ  
ル者デアリナガラ、餘リ斯ウ依頼心ト申シマスカ、サウ云フ  
様ナ關係上、何事モ政府ニ依ルト云フヤウナル風カドウカ  
マチツト自治的ニ自身等ガ進ンデサウシテ行クト云フ事ニ  
行カヌト、何時マデモサウ云フ風ニ行ヒテハ面白クナイ、其  
所デ今ノ如ク段々ニ進ンテ多岐ニ亘ツテ來ルニ從ヒテ農會法  
ノ様ナ者ヲ以テサウシテ行ク事ガ、必要デアラウト考ヘタ  
次第デアリマス、ソレデ數年前カラ色々ニ於テ最モ必要ナ  
ル者デアリナガラ、何シロマダ時機ガ來ナイト云フ事ニ  
ト一方デハ此農會法ノ如キ者ニ付テ總テ勤令ニ依テ必要  
ニ應ジテハ獎勵ヲシ必要ニ應ジテ獎勵ヲ出スト云フ様ナ  
コトデ久シイ間參ッタノデアリマカラ、先づ此所デヤント



リマシテ、其御方針ノ下ニ調査會ヲモ御指導ニナル、行ク行  
クハサウ云フコトニナル可キグラウト存ズルノデアリマス  
ガ、是ニ付テ將來ノ御經綸ニ屬スル大本ヲ承ハルコトガ出  
來マスレバ、仕合セテアリマス

○國務大臣(男爵山本達雄君) 大本ト申シマシテ、茲ニ斯  
ウ云フダケノマダ決シタモノモ持ッテ居リマセヌ、併シ唯其  
事實ノ上デ今ノ地主ト小作人ノ争ヒト云フモノハ年々多く  
ナル、ソレカラ今ノ儘ニホウチ置ケベ益々烈シクナル、實  
ニ困ッタモノダト云フ事實ハ認メテ居リマシテ、何トカ此  
紛議ヲ調停シテサウシテ其良キ道ヲ計リタイ、ソレカラ一  
體今トシテハ、ドウ云フ風ニナツテ居ルカト云フト、兎角中  
農ガ年々減フテ來テ、サウシテ大農ト云フモノト、小作ト云  
モノノ方ガ殖エテ來マシテ、却テ其中農ガ減ルト云フコト  
ノ傾キヲ有テ居ルノデアリマス、是ハ私ハ非常ニ國家ノ爲  
ニ困ッタコトデアル、ドウシテモ獨リ農事デハアリマセヌガ  
一體ニ付テ中農トナルベキモノガ段々殖エテ來ルト云フコ  
トガ、一番ドウモ力ガ付イテ來ルコトデアル、ソレカラ一方  
デハ大農ニ併呑サレ、一方デハ小作ガ殖エルト云フコトハ、  
ドウモ面白クナインデアルマカラ、ドウカ中農ガ段々殖  
エテ盛シニナル、斯ウ云フ道ニ於テドウカ法ヲ取テ見タ  
ナラバ、大變強クナリハセヌカ、ソレニ付マシテモ、例ヘバ  
小作制度ニ付テ今ノ如ク唯々農會ヲ出サシテ、サウシテ何  
御マデモ人ノ田地ヲ耕シテ居ルト云フ以上ニ、是ヨリ追々  
働イテ行ケバ俺モ地主トナレル、ソレデ斯ウ云フ約束デ行  
テ居レバ、遂ニ其土地ニ於テ地主ニナレルト云フ道ヲ求メ  
テ行ク、サウシテ又大農トシテ唯資本ガ多イカラ自身ノ土地  
ヲ擴メテ行クト云フヤウナコトニ付テモ、是モ、或程度ニ於  
テサウ云フコトノナイヤウニト云フ基礎ヲ、中農ハ小サク  
テモ働ケバ地主ニナレルト云フ風ニ何トカ法ヲ設ケテ、サ  
ウシテ一つノ途ヲ以テコ、デ基礎ヲ立テルヤウニシタイト  
云フヤウナコトニ於テ、何トカコ、デ是ナラバト云フ法ヲ  
決メタイト云フコトデ、折角心配ヲシテ居ル譯デアリマシ  
テ、中々ドウモコイツスウヤッタラ宜カラウト云フコトヲ申  
スマデニハ、餘程習慣ヲ改メ色々シテ調べテ判断シマセヌ  
ト云フト、重大ナコトデ大切ナコトデアリマスカラ、從ヒマ  
シテドウモマダスウト云フコトマデニ行カヌヤウナ次第デ  
アリマス

○仲小路廉君 唯今農商務大臣カラ仰セニナリマスヤウニ、  
實ニ此問題ハ容易ナコトデハゴザイマセヌ、是ハ所謂國家  
ノ百年ノ大計トモ申スベキモノノデ、中々簡単ニト云フコト  
ノ出來ナイノハ御尤デアリマスガ、併シドウシテモ斯ウ云  
フ問題ニ付テハ、略々行先ノ落着ク所ダケハーツ考ヲツケ  
テ掛ラネバナラス、而シテ其目的ヲ達スル爲ニハ所謂百年

ノ大計ガ五十年カ、ルカ、何年カ、ルカハ分リマセヌガ、之  
ニ付テ唯愚見ノ一端ダケヲ御参考ノ爲ニ申上ゲテ見タトイ  
ト思フノハ、ドウモ今日地主ト小作トノ争議、ソレカラ又種  
ニナコトモ起テ参リマスガ、一番大切ナコトハ國家トシテ  
農村ノ荒廢ハ何處マデモ是ハ防ガナケレバナラス、農村ガ  
荒廢シテ來ルト云フコトハ實ニ是ハ困ッタコトデアリマシ  
テ、是ガ直接ニ國民ノ生活ノ上ニ關係ヲ致スコトデアリマ  
ス、ドウシテモ農村ヲ大切ニシテヤラストイカヌノデアリ  
マス、農村ガ荒廢シテ來ルコトニナリマスレバ、一面ニ國民  
ノ食糧品ノ量ヲ増サウト云フ爲ニ或ハ開墾ヲ助勢スル、或  
ハ耕地整理ヲ獎勵ヲスル、又茲ニモアルヤウニ各種農業ノ  
改良、種々ノコトヲサレマシテモ、ドウシテモ其農村ガ今ノ  
ヤウナ立チ行カヌト云フヤウナ情勢ニナツテ居リマシテハ、  
地主モ困ルデアリマセウシ、中農ハ固ヨリノ事、其結果ハ矢  
張小作人モ困ッテ仕舞フ事ニナツテ根モ枯レテ仕舞フコ  
トニナル、ドウシテモ國家ノ大計トシテ必要ナノハ農村ノ  
荒廢ハ努メテサウ云フ慘況ニ陷ラヌヤウニシナケレバナラ  
ヌ、ソレカラドウモ必要ナコトデアルト致シマスルト、出來得  
ル限リ農村ノ負擔ハ輕クシテヤラナケレバ、イカヌト思ヒマ  
ス、出來得ルタケ農村ノ負擔ハ輕イ途ヲ取テ行カヌト、ド  
ウシテモ過重ノ負擔ヲ負ヘバソレハ立場ガナイ譯デアリマ  
ス、故ニ將來ノコトヲ考ヘマスト云フト、是ハ事容易ナコト  
デハナイカモ存ジマセヌケレドモ、先づ地租ノ如キコトモ  
餘程考ノ中ニ置カナケレバナラヌカト存ジマス、其次ニハ  
又ハ各種ノ地方稅ノコト、是モ相當ニ考ヘネバナラス、現ニ  
今日問題ニナツテ居リマス、地方負擔ノ教育費ノ如キモ是モ  
亦國家ニ於テ相當ニ分擔ノ途モ立テ、餘リ農家農民ノ困  
ヌヤウナコトニモシテ行カナケレバナラヌト考ヘマス是ハ  
ドウシテモ種々ノ法律ナリ、制度ガ必要ナリマスケレド  
モ、何ヨリカヨリモ、實地ノ功德ノアルコトデナケレバイカ  
ヌコトハ、是ハ明カナコトト存スルノデアリマス、ドウシテ  
モ農村ノ衰頹滅ヲ防グニ付テハ、過重ノ負擔ヲシテハ、到底  
モ困ル、逆モ生活ガ出來ヌ斯ウナツテ來ル、引イテハソレガ  
食糧問題ニ及シテ來テ、今度ハ國民一般が困ルト云フコト  
ニナル、故ニドウシテモ實地ニ效果ノアル途ハ、努メテ負擔  
ハ輕カラシメル、餘り重イ事シテハナラヌ、各種ノ點カラ  
考究スベキ問題ダラウト思ヒマス、左様ナ必要ノ迫ッテ居ル  
其際ニ、農會ナル一ツノ自治的御方針デアリマスガ、自治的  
御方針ガ是ガ市町村ノ公ノ機關ト等シイ關係ニナツテ、滯納  
ハ輕カラシメル、餘り重イ事シテハナラヌ、各種ノ點カラ  
アリマス、今度ハ是モ從來カラアリマシクコトデアリマス  
マセウケレドモ、ソレヲ今度ハ茲ニ幾ラカ著目シナケレバ  
ナラヌカト存ズル所ハ、是マデノハ農事ノ改良發達ヲ圖ル  
爲ニ設立スルモノトスト云フノガ、一ツノ目的デアッタノデ  
ノ目的ナリ手段ナリハ、勅令ナリ省令ナリテ出タノデアリ  
マセウケレドモ、ソレヲ今度ハ茲ニ幾ラカ著目シナケレバ  
ナラヌカト存ズル所ハ、是マデノハ農事ノ改良發達ヲ圖ル  
ノコトデアリマス、農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル  
施設、ソレカラ農業ニ關スル研究及ビ調査、是モ以前カラ  
アリマス、今度ハ是モ從來カラアリマシクコトデアリマス  
ケレドモ、農業ノ指導獎勵ニ關スル施設、是ハマア當リ前  
ノコトデアリマス、農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル  
爲ニ設立スルモノトスト云フノガ、一ツノ目的デアッタノデ  
アリマス、今度ハ是モ從來カラアリマシクコトデアリマス  
ケレドモ、農業ノ指導獎勵ニ關スル施設、是ハマア當リ前  
ノコトデアリマス、農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル  
アリマス、今度ハ是モ從來カラアリマシクコトデアリマス  
ケレドモ、農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁、斯ウ云フ様ナ即チ從前  
ハ専ラ農業ノ改良耕作肥料ノ改良、其點モ確カニ有效ナ  
リマシタガ、更ニ時勢ノ進歩ニ伴フテハ農民ヲ出來ルダケ、  
是ガ幸福ニ生活シ得ル様ニト云フハ、是ガ又大切ナ事デハナ  
カラウカト思フノデアリマス、農業ニ從事スル者増ノ福利  
進ニ關スル施設ヲ十分ニヤツテ行キタイ、ソレカラ更ニ進ン  
デ農業ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁、是テアリマスガ、畢竟  
小作ト地主ニ關スル關係ト云フモノハ、是ガ所謂纏メテ申  
セバ農業ニ關スル紛議デアリマス、是ガア、云フ風ニ大キ  
クナ、テ仕舞フトサッパリ手ノ著ケヤウガナイ、ソレハ一般  
ノ大勢ニモ依ルコトデアリマスガ、是ガ萌芽ノ中ニアリマス  
ニサウ云フ點ニ氣ヲ付ケテ、成ベク萌芽ノ中ニ是ガ刈取ラ

ル様ニ調停方出來ルトカ、或ハ調停ノ途ガ立ツトカ云フ  
ヤウナコトニナツテ、餘り大火事ニナラス間ニ大概ノ所デ紛  
議モ調停サレテ來ル、土地ノ豪農其他識望ノ人ノ人ガ、道理  
アル事ニ依テ仲裁ノ途ヲ立ツテ行クト云フヤウナ事柄ガ、若  
シ是ガ有效ニ行ハレテ來ルコトニナレバ、左スレバ今日不  
幸ヲ被リ、脅威ヲ受ケテ居ル大地主ナドハ、相當ニ奮發シテ  
モ宜イコトニナリハセヌカト思フノデアリマスガ、斯ウ云  
フ點ヲヨク、御説明ニ預リマスルト、只今申シタヤウニ  
是ガ爲ニ負擔ガ重クナル、又一種ノ租稅ガ新規ニ出來テ  
困ルト云フ、是ハ尤モナ議論デアリマスカラ、サウ云フ  
ヤウナ議論モ解ケテ行クト云フコトト、尙ホ縱令サウナ  
ルトシテモ此負擔ハ矢張負擔ベキ至當ナ者ガ負擔シ  
ナケレバナラズ、又其額ニ於テモ至當ナコトデアル場合  
ニハ、餘リ濫費サレナイヤウニ相當ノ制限モ必要デアルカ  
モ存ジマセヌシ、致シマスルガ、ソレ等ノコトハ兎モ角大  
趣意ガ達シテ後ノコトデアリマスカラシテ、サウ云フ點ニ  
付テハ如何ナモノデアリマセウカ、即チ農會法ナルモノハ  
決シテ無駄ナモノデハナイ、實際のニ功德ノアルト云フヤ  
ナ事柄ハ、十分ニ御説明ニ預カルト甚ダ仕合セデアリマス  
○國務大臣(男爵山本達雄君) 政府委員カラ申上ゲマス  
○政府委員田中隆三君 先程服部サンカラ御尋ガゴザイ  
數ノ一戸當リニ當テ、見マスト云フト、町村稅ハ一年ニ約  
三十圓バカリニナツテ居ル、ソレカラ協議費ハ一圓三十八錢  
位ニ當ツテ居ル  
○服部一三君 町村費ト云フノハ附加稅モ皆這入ッテ……  
○政府委員(田中隆三君) 縣稅ト國稅ハ別ゴザイマス、  
町村稅ダケデゴザイマス、縣稅附加稅、國稅ハ丁度其倍額位  
ト思ハレマス、協議費ハ一圓三十八錢、是ハ只今申シマシタ  
通り、農商務省ノ調べデハ斯ウ云フ數字ガ出テ居リマスガ、  
尙ホ調べマシテ申上ダマス、大體ハ其數字ノ範圍デハナカ  
ラウカト認メテ居リマス、ソレカラ現在農會ニ於テ農會員  
が負擔ヲ致シテ居リマス經費ハ、市農會ガ一圓三錢一厘、町  
村農會ガ一圓四十四錢七厘、一圓五十錢バカリデアリマス、  
サウ云フ譯デ非常ニ重イ負擔ラシテ居ル譯テハナイト認メ  
テ居ルノデアリマス、ソレカラ所謂滯納ノ狀況ヲ色ニナ關  
係カラ調べテ見マスルト、一町歩未滿ヲ所有シテ居ル極メ  
テ小サイ方ノ地主、ソレノ千人ニ付テ二十六人、ソレカラ今  
度二町歩以上五町歩未滿ト云フモノハ矢張千人ニ付テ二十  
五人、稍同ジテゴザイマス、モット數字ヲ的確ニ申上ゲマス  
レバ一町歩未滿ノモノハ二六・五人、只今申上ゲタ一町歩以

上五町歩未滿ハ二五・七デゴザイマス、詰リ千人ニ付テ二十  
五人六人ノ間ヲ來往シテ居リマス、今度ハ五町歩以上所謂  
大キナ部類ニナリマスト云フト、千人ニ付テ四十八「ヨンマ」  
二、大慈澤山ナ敷字ニナリマス、其町村ニ居ラナイ者デ他  
府縣ノ市町村ニ住居シテ居ル人、不在地主、其方ハ千人ニ付  
テ五十四人、町村ニ土地ヲ所有シテ居テ其町村ニ居ラナイ  
人ガ主ナル未納者デアルヤウデアリマス、其關係ノ上カラ、  
ソレガ數ノ上ニ付テノ調べデアリマスガ、之ヲ今度ハ金高  
ノ方ニ付テ申シマスト、一人當リドレダケノ未納者ガアル  
カト調べテ見マスルト、一町歩未滿ト云フ極メテ少サイ方  
ニハ、餘リ濫費サレナイヤウニ相當ノ制限モ必要デアルカ  
モ存ジマセヌシ、致シマスルガ、ソレ等ノコトハ兎モ角大  
趣意ガ達シテ後ノコトデアリマスカラシテ、サウ云フ點ニ  
付テハ如何ナモノデアリマセウカ、即チ農會法ナルモノハ  
決シテ無駄ナモノデハナイ、實際のニ功德ノアルト云フヤ  
ナ事柄ハ、十分ニ御説明ニ預カルト甚ダ仕合セデアリマス  
○國務大臣(男爵山本達雄君) 政府委員カラ申上ゲマス  
○政府委員田中隆三君 先程服部サンカラ御尋ガゴザイ  
數ノ一戸當リニ當テ、見マスト云フト、町村稅ハ一年ニ約  
三十圓バカリニナツテ居ル、ソレカラ協議費ハ一圓三十八錢  
位ニ當ツテ居ル  
○服部一三君 町村費ト云フノハ附加稅モ皆這入ッテ……  
○政府委員(田中隆三君) 縱ト國稅ハ別ゴザイマス、  
町村稅ダケデゴザイマス、縣稅附加稅、國稅ハ丁度其倍額位  
ト思ハレマス、協議費ハ一圓三十八錢、是ハ只今申シマシタ  
通り、農商務省ノ調べデハ斯ウ云フ數字ガ出テ居リマスガ、  
尙ホ調べマシテ申上ダマス、大體ハ其數字ノ範圍デハナカ  
ラウカト認メテ居リマス、ソレカラ現在農會ニ於テ農會員  
が負擔ヲ致シテ居リマス經費ハ、市農會ガ一圓三錢一厘、町  
村農會ガ一圓四十四錢七厘、一圓五十錢バカリデアリマス、  
サウ云フ譯デ非常ニ重イ負擔ラシテ居ル譯テハナイト認メ  
テ居ルノデアリマス、ソレカラ所謂滯納ノ狀況ヲ色ニナ關  
係カラ調べテ見マスルト、一町歩未滿ヲ所有シテ居ル極メ  
テ小サイ方ノ地主、ソレノ千人ニ付テ二十六人、ソレカラ今  
度二町歩以上五町歩未滿ト云フモノハ矢張千人ニ付テ二十  
五人、稍同ジテゴザイマス、モット數字ヲ的確ニ申上ゲマス  
レバ一町歩未滿ノモノハ二六・五人、只今申上ゲタ一町歩以

テ色ミ施設イタシテ居リマス状況等ノコトニ付マシテハ、  
他ノ政府委員カラ御答申上ゲヤウト思ヒマス  
○玉利喜造君 私モ質問イタシタイト思ヒマス、先程御質  
問ガアツタ問題ニ付マシテハ、私ノ方デハ左程困難ナ事情ト  
考ヘテ居ナイノデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマシテ  
モ解ルヤウナ次第デ、地面ヲ多ク持ツテ居ル者ハ未納者ガ多  
人ガ主ナル未納者デアルヤウデアリマス、其關係ノ上カラ、  
レガ一向納メナイ、殊ニ其人ガ却テ大ナイト地主デアルト云  
ノ方ニ付テ申シマスト、一人當リドレダケノ未納者ガアル  
カト調べテ見マスルト、一町歩未滿ト云フ極メテ少サイ方  
ニハ、餘リ濫費サレナイヤウニ相當ノ制限モ必要デアルカ  
モ存ジマセヌシ、致シマスルガ、ソレ等ノコトハ兎モ角大  
趣意ガ達シテ後ノコトデアリマスカラシテ、サウ云フ點ニ  
付テハ如何ナモノデアリマセウカ、即チ農會法ナルモノハ  
決シテ無駄ナモノデハナイ、實際のニ功德ノアルト云フヤ  
ナ事柄ハ、十分ニ御説明ニ預カルト甚ダ仕合セデアリマス  
○國務大臣(男爵山本達雄君) 政府委員カラ申上ゲマス  
○政府委員田中隆三君 先程服部サンカラ御尋ガゴザイ  
數ノ一戸當リニ當テ、見マスト云フト、町村稅ハ一年ニ約  
三十圓バカリニナツテ居ル、ソレカラ協議費ハ一圓三十八錢  
位ニ當ツテ居ル  
○服部一三君 町村費ト云フノハ附加稅モ皆這入ッテ……  
○政府委員(田中隆三君) 縱ト國稅ハ別ゴザイマス、  
町村稅ダケデゴザイマス、縣稅附加稅、國稅ハ丁度其倍額位  
ト思ハレマス、協議費ハ一圓三十八錢、是ハ只今申シマシタ  
通り、農商務省ノ調べデハ斯ウ云フ數字ガ出テ居リマスガ、  
尙ホ調べマシテ申上ダマス、大體ハ其數字ノ範圍デハナカ  
ラウカト認メテ居リマス、ソレカラ現在農會ニ於テ農會員  
が負擔ヲ致シテ居リマス經費ハ、市農會ガ一圓三錢一厘、町  
村農會ガ一圓四十四錢七厘、一圓五十錢バカリデアリマス、  
サウ云フ譯デ非常ニ重イ負擔ラシテ居ル譯テハナイト認メ  
テ居ルノデアリマス、ソレカラ所謂滯納ノ狀況ヲ色ニナ關  
係カラ調べテ見マスルト、一町歩未滿ヲ所有シテ居ル極メ  
テ小サイ方ノ地主、ソレノ千人ニ付テ二十六人、ソレカラ今  
度二町歩以上五町歩未滿ト云フモノハ矢張千人ニ付テ二十  
五人、稍同ジテゴザイマス、モット數字ヲ的確ニ申上ゲマス  
レバ一町歩未滿ノモノハ二六・五人、只今申上ゲタ一町歩以

テ色ミ施設イタシテ居リマス状況等ノコトニ付マシテハ、  
他ノ政府委員カラ御答申上ゲヤウト思ヒマス  
○玉利喜造君 私モ質問イタシタイト思ヒマス、先程御質  
問ガアツタ問題ニ付マシテハ、私ノ方デハ左程困難ナ事情ト  
考ヘテ居ナイノデアリマスガ、只今ノ御説明ニ依リマシテ  
モ解ルヤウナ次第デ、地面ヲ多ク持ツテ居ル者ハ未納者ガ多  
人ガ主ナル未納者デアルヤウデアリマス、其關係ノ上カラ、  
レガ一向納メナイ、殊ニ其人ガ却テ大ナイト地主デアルト云  
ノ方ニ付テ申シマスト、一人當リドレダケノ未納者ガアル  
カト調べテ見マスルト、一町歩未滿ト云フ極メテ少サイ方  
ニハ、餘リ濫費サレナイヤウニ相當ノ制限モ必要デアルカ  
モ存ジマセヌシ、致シマスルガ、ソレ等ノコトハ兎モ角大  
趣意ガ達シテ後ノコトデアリマスカラシテ、サウ云フ點ニ  
付テハ如何ナモノデアリマセウカ、即チ農會法ナルモノハ  
決シテ無駄ナモノデハナイ、實際のニ功德ノアルト云フヤ  
ナ事柄ハ、十分ニ御説明ニ預カルト甚ダ仕合セデアリマス  
○國務大臣(男爵山本達雄君) 政府委員カラ申上ゲマス  
○政府委員田中隆三君 先程服部サンカラ御尋ガゴザイ  
數ノ一戸當リニ當テ、見マスト云フト、町村稅ハ一年ニ約  
三十圓バカリニナツテ居ル、ソレカラ協議費ハ一圓三十八錢  
位ニ當ツテ居ル  
○服部一三君 町村費ト云フノハ附加稅モ皆這入ッテ……  
○政府委員(田中隆三君) 縱ト國稅ハ別ゴザイマス、  
町村稅ダケデゴザイマス、縣稅附加稅、國稅ハ丁度其倍額位  
ト思ハレマス、協議費ハ一圓三十八錢、是ハ只今申シマシタ  
通り、農商務省ノ調べデハ斯ウ云フ數字ガ出テ居リマスガ、  
尙ホ調べマシテ申上ダマス、大體ハ其數字ノ範圍デハナカ  
ラウカト認メテ居リマス、ソレカラ現在農會ニ於テ農會員  
が負擔ヲ致シテ居リマス經費ハ、市農會ガ一圓三錢一厘、町  
村農會ガ一圓四十四錢七厘、一圓五十錢バカリデアリマス、  
サウ云フ譯デ非常ニ重イ負擔ラシテ居ル譯テハナイト認メ  
テ居ルノデアリマス、ソレカラ所謂滯納ノ狀況ヲ色ニナ關  
係カラ調べテ見マスルト、一町歩未滿ヲ所有シテ居ル極メ  
テ小サイ方ノ地主、ソレノ千人ニ付テ二十六人、ソレカラ今  
度二町歩以上五町歩未滿ト云フモノハ矢張千人ニ付テ二十  
五人、稍同ジテゴザイマス、モット數字ヲ的確ニ申上ゲマス  
レバ一町歩未滿ノモノハ二六・五人、只今申上ゲタ一町歩以

○委員長（侯爵佐佐木行忠君）委員長モ前置ト考ヘテ居リマスカラ……

○仲小路廉君 成ベクハ政府ノ御説ヲ承リマシテ、サウシテソレガ……委員デゴザイマスカラ矢張一般委員ノ方々モ

ヨク御了解ニナリマスヤウニヤルコトガ宜ノデアリマス

シ、又委員長ノ御報告ノ元ニナルノデアリマスカラ、孰レソ

コニ御到着ニナルノデハアリマセウケレドモ、委員ノ方々カ

ラ只今意見ジミタコトヲ先ニ申スヨリモ、矢張ソレハ政府

ノ方ノ側カラ統計ヲ示サレテ、又事情ノアリマシタモノハ

承ハタゞ方ガ却テ議シテ行クノニ都合ガ宜シイカト思ヒマスカラ、チヨット此事ヲ申上ゲテ置キマス

○玉利喜造君 ソレデ近頃ハ貴族院ノ方ノ多額納稅ノ方モ

別ニ委員ヲ……此農會ニ付テノ懇話會ナドヲ開カレルヤ

ウナコトニナツテ居ルヤウナ次第デモッテ、矢張自分自分ガ

怠ツテ居ラレルカラシテ、斯ウ云フ小作爭議ナドガ起ルト云

フコトニ氣付カレタ考ヘテ居ル次第アリマス、ダカラ

シテソンナヤウナコトモ都合ガ宜クナルデヤナカラウカト

考ヘテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレカラ尙ホ矢張辯護のノヤウナコトニ亘リマスケレドモ、先程農商務大臣ガ

仲小路サンニ御答ニナツテ所ニ依リマスト、餘程急ニ輕卒ニ

之ヲ取計テハイケナイカラ、追々研究シテサウシテ不都合

ノ無イ施設ヲシテ行クヤウナ所ノ御説明ニ伺ツテ居リマシタガ、自分ノ信ズル所デハ是ガ即チ一番先程……

○委員長（侯爵佐佐木行忠君）成タケ一ツ意見ハ御罷メヲ

願ヒタトイ思ヒマス

○玉利喜造君 ソレデハ餘り長イ話ハ措キマセウ、ソレデ

スウ伺ヒタイノデアリマスガ、ドウ申セバ宜シウゴザイマ

セウカ、農商務大臣ノ御説明ヲ斯ウ云フニ風シテ私ハ伺

ヒタイト思ツテ居リマスカ、實業ノコトハ其當業者ニ、自治

的ノ精神ヲ以テヤラセルト、ト云フ御精神デアルノデハナ

カラウカト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ萬事ガ解決シ

テ行クコト考ヘテ居ルノデアリマス、ソコニ以テ自分ト

シテ豫テ遺憾ニ考ヘテ居リマシタノハ、ドウモサウ云フ風

ニ指導ガナインデアリマス、當局ノ方テ此農會ヲ……農會

ガドウモ有名無實ニ終ルヤウナノガアルノデアリマス、又

能ク効ク農會モアルノデアリマス、ソレガ効カレヌヤウナ

工合ニ陥ツテ居ルヤウナ有様ガ多々アルノデアリマス、隨分

アルノデアリマス

云フコトデアリマス  
○政府委員（石黒忠篤君）今ノ玉利サンノ監督ノ點ニ付テ

ノ御答ヲ申上ゲマス

○玉利喜造君 是ハ衆議院テモ、此事ヲバ餘程希望シタケ

レドモ、ドウモ餘リ要領ヲ得ヌデ濟ングダヤウデアル、多少同

ハレルヤウデアルケレドモ、ドウモ十分ナ御答ハ無カッタ：

○政府委員（石黒忠篤君）先ノ御質問ト只今ノ御質問ト聯

關ヲ致シテ、私カラチヨット實際ノ農商務省ト見マシタ所ヲ

申上ゲテ置キタイト存シマス、御答ガ前後ニナリマスガ、多

少前後イタシタ方ガ都合ガ宜イヤウニ思ヒマスカ、多少

前後イタシマスガ、其順ニ構ハズニ申シマス、大正三年カラ

致シマシテ、昨年末迄ニ農商務省ハ相當此農會法ヲ改正イ

タシマスル準備ト致シマシテ、特ニ町村農會等下級農會ニ

至ル迄ノ監督ヲ實行イタシマシタ、其數ハ町村會ニ於テハ、

約二百郡農會ニ於テハ百七、府縣農會ニ付テハ先づ二三ノ

府縣農會ヲ除キマシテ全部監督イタシマシタ、監督ト同時

ニ只今玉利博士カラモ御話ノ、農會ヲドウ云フ風ニ經營シ

指導シテ行ツテ宜シニカト云フコトモ、監督ヲ致シマス際ニ

個々ニ付テモ指導ヲ致シマシタ、且ツ各府縣ノ農會等ニ

付テ、經營指導ノ講習會ト云フモノノ頻ニ開キマシテ……

此要求ガアリマシタ、ソチラノ方面ニ官吏ヲ常ニ出シテ其

方面ノ講習等ニ數日ヲ費シテ居タヤウナ次第デアリマス

此講習會モ可ナリ各地方ニ行且ツテ居リマス、是等ノコトハ

帝國農會ニ就テ御調べ下サイマシタナラバ、事實詳細ニ判

明スルコト思ヒマス、ソレカラ其結果色々ノ點カラ致シ

マシテ、今回ノ改正法ノ必要デアリマス所ノ事項ガ、明白ニ

看取セラレタノデアリマシテ、ソレニ基キマシテ立案ヲ致

シ、且ツドウセスウ云フ團體デアリマス以上ハ、自治的ノモ

ノデアリマス又農商務省ノ諮問機關デアリマス、帝國農會

等ニモ其意見ヲ微シマシテ、隨分慎重ナル調査ノ下ニ此法

案ヲ立案イタシマシタヤウナ次第デアリマスソレデ其調査

ヲイタシマシタ結果、先程カラ御話ニアリマスヤウニ、此強

制徵收ノ可否ト云フ事ガ、隨分問題ニナツテ居リマシタノデ

是ハ數年前來、衆議院等ニ於キマシテ、度々決議モアリマシタシ、又農會ノ方カラモ建議ガゴザイマシタ、又農會關係以外ノ地方ノ實業會聯合會等カラモ建議等ガゴザイマシタ

ガ其後大正六年ノコトニ付マシテ、直チニ七年ニ調べラ致シマシタ所ト、九年ノ事實ニ付マシテ昨年度ニ於テ十分ニ

調べラ致シマシタ所トガ、勢ヒノ大勢ガ少シモ變更シテ居ラナイ、即チ今農商務次官カラ申上グマシタヤウニ比較

的士地ヲ多ク持ツテ居ル人々、中ニハ他町村ニ在住シテ居ル所謂不在地主ト云フモノ、會合ト云フモノガ、割合ニ多イト云フ事實ガ六年ノ事實ニ付マシテモ、九年ノ事實ニ付マシテモ同ジヤウナ勢ヲ見タノデアリマス、ソコ

デ此事實ハドウシテモ認メザルヲ得ナカッタノデアリマス

ト同時ニ、六年度カラ較ベマスト、九年十年ニナリマシテ、只今御話ガゴザイマシタ小作爭議等ニ於ケル思想ガ、非常ニ付マシテモ同ジヤウナ勢ヲ見タノデアリマスカラ、ソレ等ノ關係ガアル、殊ニ斯ノ如キ狀態ヲ呈シテ居ルコトハ憂フベキコトデアラウ、斯ウ云フコトモ考ヘマシタ、益々はヤルコトガ必要デアルト云フコトヲ考ヘタノデアリ

マス、尙ホ仲小路サンカラノ御話モゴザイマシタ、事業ノ中ニ争議ノ調停ト云フコトガ今度出タガ、ソコラノ點ヲ少シ

詳シク言ッタ方ガ皆ノ了解ニモ宜カラウト云フコトデゴザ

イマスカラ、非常ニ我ニ此點ニ付テ御話ヲシ得ル機會ヲ得

タコトヲ有難ク感スルノデアリマス、是ハ實ニ農會トシテ

モ從来モ事實ハヤッテ參ッテ居ルノデゴザイマス、從來農會ガ此方面ニ付テヤリマシタ所ヲ、實際調査イタシマシタ結果ニ付テ申上ゲマスト、ヤリ方ハ表面立ツテ調停ヲ致シタイ

モノモ岐阜、鳥取、神奈川三重等ノ諸縣ニ於テゴザイマス

ガ此方面ニ付テヤリマシタ所ヲ、實際調査イタシマシタ結果ニ付テ申上ゲマスト、ヤリ方ハ表面立ツテ調停ヲ致シタイ

ザイマセスデ、兩方カラ賴マレテヤリマシタ云フヤリ方

デヤツテ居タノデゴザイマス、ソレカラ此表面立チマセス

デ、詰リ別ニ農會ノ名前ヲ出シテヤルト云フコトデゴザイ

マセスガ、表面立チマセヌデ、農會ノ關係者トシテ調停イタ

シマシタ例ハ是ハ多々ゴザイマス、其中ノ最モ著シキ

モノハ大正四年デゴザイマシタカラ、七年迄タシカ續キマ

シタシタ思ヒマスガ、彼ノ有名な愛媛縣ノ小作紛争、是等ニ

付テハ農會關係者、或ハ會長、或ハ幹部トカ云フ人ガ非常ニ

熱心ナ人ガアリマシテ、是等ノ色々内輪デ以テ兩者ノ間ヲ

マセスガ、表テニ郡長ガ立タレテ、内ニ農會關係者ガ斡旋苦

非當ニ苦心ヲ重不テ致シマンタ結果、彼ノ非常ナ、彼ノ大

キナ小作事件モ先づ平穏ニ解決ヲ告ゲタト云フコトモゴザ

イマス、是ハ必ずシモ農會關係者バカリヤツタコトデハアリ

マセスガ、表テニ郡長ガ立タレテ、内ニ農會關係者ガ斡旋苦

デアリマス、尙ホソレ迄ニ行キマセヌデモ解決上ニ付テ色

調査スル、坪刈ヲスルトカ云フ根本調査ヲ農會ガスルト

カ、或ハ小作料ノ率ガ年ニ拘ラズ高イカ安イカト云フヤウナ調査モ、スカリ農會ガヤリマシテ、之ガ紛議ガ一旦起タ際ニ於ケル有力ナル調停ノ根柢ヲ爲シタト云フヤウナ事例モ隨分澤山アルノデゴザイマス、是等ノ點カラ申シマシテモ、從來農會ノ目的ヲ漠然ト農事ノ改良獎勵ト云フコトニ致シマシテ置キマシテ、事業ヲ一々新法案ノ如クニ掲ゲテハ置キマセヌガ、此方面ニ盡力シテ居タ點モアルノデアリマス、併ナガラソレガ此事業ノ大キナ部分ヲ占メテ居タカト申シマスト、サウデハゴザイマセヌ、併ナガラ將來小作問題ガヤカマシクナッテ參リマスレバ、此方面ニ付テ農會ガ働くベキ餘地ト云フモノハ相當大キナモノト考ヘラレルノデゴザイマス、勿論小作爭議モ只今モ仲小路サンカラ御話ガゴザイマシタガ非常ニ大キナ問題デアリマシテ、之ヲ農會ノ事業トシテ大ニ此方面ニ活動サレルト云フコトデ、大部分ノ解決方出來ルト云フコトハ農商務省デモ信ジテ居リマシタガ、農會ヲ以テ此方面ニ大ニ活動スル餘地ヲ與ヘルト云フコトハ、或ハ自治的或ハ調停トカ是ハ色ノ方面デ調停シ、又援助セシムナケレバナラヌト思フノデアリマス、故ニ新シイ法案致シマシテ、此方面ノコトヲ殊更ニ一項トシテ掲ゲマシテ、地主ニモ小作人ニモ適當ノ解决ヲ與ヘサセルコトニ付テノ方面ニ力ヲ注ガセタイト云フコトガ、新法案ノ一つノ目的デアルト云フコトハ争ヘナリマス、農業ニ關スル爭議トシテアルノデアリマス、所ニ依限ヲテ居リマセヌノデ、此農業ニ關スル爭議ノ調停調査部ヲ非常ニ大キシテ置キマシタノハ、是ハ水利ニ關スル爭議ナドモ、農業ニ關スル争議トシテアルノデアリマス、所ニ依リマスト、此ノ水利争議ガ隨分血ヲ見ルヤウナコトガゴザイマスガ、是モ農事上ノ爭議トシテ、我國ニ於テハ稻作ノ關係上大キナ問題デアリマス、將來モ大キナ問題トシテ残ダテ居ルヤウニ思フノデアリマス、是等ニ對シテ農會ガ活動スルコトノ實例ニ付マシテハ、熊本縣ニ於キマシテ農會ガ水利ノ配給ニ付テ盡力イタシマシテ、此ノ水利ノ分配ヲ通常ニ調停シ得タト云フコトガ、大キイ實例デハゴザイマセウガ、二二ゴザイマス、斯ウ云フ風ニ廣キ意味デ農業ニ關スル紛議調停調査ト云フ風ニ特ニ現シテ置キマシタヤウナ次第デゴザイマス、是ガ大體只今迄農會ノ紛議ノ調停方面ニ關シマシテヤシテ參リマシタコトノ概要デゴザイマス、唯事務ダケヲ申上げテ、法案ニ之ヲ特ニ掲ゲマシタ理由ヲ御説明申上げテ置キマス○服部一三君 私モ先刻仲小路サンノ心配シテ居ラレル強制徵収ト云フコトニハ、同ジヤウニ是ハムヅカシイコトデ、是ハ餘程紛亂ガ起ルコトデアラウト私ハ心配シテ居ルノデアリマシテ、今迄ノ統計ノ示ス所デハ、或ハ大概小サイ所ノ

モノハ皆納メテ居タデ、大キイ所ノモノガ納メナカッタ云フコトデアリマスルガ、又外ノ所モ御調ベニナリマシタナラバ、能ク御分リニナルデアリマセウカ、是ハ所得稅デア、テモ何稅デアッテモ、一番納メスモノハ大キイモノデアリマス、是ハ大阪デ御調ベニナッタ所デ、神戸デ御調ベニナッタ所リノ事デハアリマセス、ソレデ是ハ其方ヲ抑ヘル途ハ必ズシモ強制徵收ト云フ方法デハナシニ御考ヘニナル事ガ出來ルコトデアリハシナイカ、今度ノ法案ヲ見マスト會費ノ制限ハナリノハソンナモノデアリマス、是ハ決シテ農會バカラノ事デハアリマセス、ソレデ是ハ其方ヲ抑ヘル途ハ必ズシモ強制徵收ト云フ方法デハナシニ御考ヘニナル事ガ出來ルコトデアリハシナイカ、今度ノ法案ヲ見マスト會費ノ制限ハナイ、参考ノ爲ニ廻シテ下サッタ佛蘭西ノ方ニハ會費ニ制限ガアルヤウデアリマスガ、日本ニハ制限ガナイ、サウシテ農事ニ關係シテ居ル者ハ皆會員ト看做スノデアルカラ、大キイ者モ小サイ者モ皆サウデアリマスガ、其者共ハ今日ドウ云フ狀態デアルカト云フ、農村ノ農民ノ心理狀態ト云フモノハ非常ニ悪化シツツアル、今迄ソレ程苦痛ヲ感マジナカクモノガ、益々感ズル様ナ風ニナッテ居ル際デアリマスカラ、今迄納メテ居タ者モ隨分苦情ヲ云フ様ニモナルデアラウ、又今後色々事業ヲ擴張シテ行ク時分ニハ、農會ノ會費モ増シテ來ルデアラウト云フ事デアリマスカラ、是ハ餘程考ヲ要スル事デアルト思ヒマスルガ、此由ツテ來ル所ガ私ハチヨット農商務省デ立案ノ精神ニ付テ疑ヒガアリマスルガ、初メニ農商務次官カラノ御説明デハ、ドウゾ農會ノ如キハ農民ノ自覺、自治ノ精神ヲ發揚シテソレニ依テ此三條ニアル目的ヲ達シナセル様ニシタイモノデアルト云フ事デアリマシタガ、此法律ヲ通覽シテ見ルト云フト、ドウモソレノ裏ニナッテ居ル様ニ私ニハ見エルノデ、ソレヲ伺ヒタ、ナゼナラバテス那農會、府縣農會ト云フヤウナモノニナリマスカラ、ソレヲ養成シテソレガ成長スルヤウニシテ行カナケレバナラヌ、所謂苗ヲ養フモノデアッテ苗ヲ引キ抽クト云フヤリ方ヲスルヤウナ自然傾キガアッテハ、是ハ大ナル間違デアッテ、本當ノ町村農會ト云フモノハ發達スルコトハリマスカラ、ソレヲ養成シテソレガ成長スルヤウニシテ行カナケレバナラヌ、所謂苗ヲ養フモノデアッテ苗ヲ引キ抽クト通リニ行ケルカラ、是ハ餘程發達シクト云フ考ヲ持ツ人ガアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハホンマノ進歩デハナインデアル、ソレデ是等ノコトデハ私ハ甚ダ疑ヲ有ツテ居ル、ソレカラ是ハ私ノ或ハ讀ミ違ヒカモ知レマセヌガ、此費用デアリマスガ、日本農會ノ費用ハ府縣農會、府縣農會モ日本農會モ、ソレダケノモノヲ負擔スルト云フスルト特別會員ヲ行政官ガ命ズルコトガ出來ル、其特別會員ト云フ者ハ矢張他ノ會員ト同ジヤウニ役員ニナルコトが出來ルノデアル、ソレカラ斯ウ云フコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト思ヒマスノハ、農民ト云フモノハ極ク質朴出來ルノデアル、ソレカラ斯ウ云フコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト思ヒマスノハ、農民ト云フモノハ極ク質朴ナモノデ、斯ウ云フ會ニ出テ議論ヲスルト云フヤウナコトハ多クハ出來ヌモノノデアリマス、是ハ農民バカリデハナイ、一般實業家ト云フモノハ、本省ヘデモ出テ或ハ調査會トカラシマシテヤシテ參リマシタコトノ概要デゴザイマス、唯事務ダケヲ申上げテ、法案ニ之ヲ特ニ掲ゲマシタ理由ヲ御説明申上げテ置キマス○服部一三君 私モ先刻仲小路サンノ心配シテ居ラレル強制徵収ト云フコトニハ、同ジヤウニ是ハムヅカシイコトデ、是ハ餘程紛亂ガ起ルコトデアラウト私ハ心配シテ居ルノデアリマシテ、今迄ノ統計ノ示ス所デハ、或ハ大概小サイ所ノ

モノハ皆納メテ居タデ、大キイ所ノモノガ納メナカッタ云フコトデアリマスルガ、又外ノ所モ御調ベニナリマシタナラバ、能ク御分リニナルデアリマセウカ、是ハ所得稅デア、テモ何稅デアッテモ、一番納メスモノハ大キイモノデアリマス、是ハ大阪デ御調ベニナッタ所デ、神戸デ御調ベニナッタ所リノ事デハアリマセス、ソレデ是ハ其方ヲ抑ヘル途ハ必ズシモ強制徵收ト云フ方法デハナシニ御考ヘニナル事ガ出來ルコトデアリハシナイカ、今度ノ法案ヲ見マスト會費ノ制限ハナリノハソンナモノデアリマス、是ハ決シテ農會バカラノ事デハアリマセス、ソレデ是ハ其方ヲ抑ヘル途ハ必ズシモ強制徵收ト云フ方法デハナシニ御考ヘニナル事ガ出來ルコトデアリハシナイカ、今度ノ法案ヲ見マスト會費ノ制限ハナイ、参考ノ爲ニ廻シテ下サッタ佛蘭西ノ方ニハ會費ニ制限ガアルヤウデアリマスガ、日本ニハ制限ガナイ、サウシテ農事ニ關係シテ居ル者ハ皆會員ト看做スノデアルカラ、大キイ者モ小サイ者モ皆サウデアリマスガ、其者共ハ今日ドウ云フ狀態デアルカト云フ、農村ノ農民ノ心理狀態ト云フモノハ非常ニ悪化シツツアル、今迄ソレ程苦痛ヲ感マジナカクモノガ、益々感ズル様ナ風ニナッテ居ル際デアリマスカラ、今迄納メテ居タ者モ隨分苦情ヲ云フ様ニモナルデアラウ、又今後色々事業ヲ擴張シテ行ク時分ニハ、農會ノ會費モ増シテ來ルデアラウト云フ事デアリマスカラ、是ハ餘程考ヲ要スル事デアルト思ヒマスルガ、此由ツテ來ル所ガ私ハチヨット農商務省デ立案ノ精神ニ付テ疑ヒガアリマスルガ、初メニ農商務次官カラノ御説明デハ、ドウゾ農會ノ如キハ農民ノ自覺、自治ノ精神ヲ發揚シテソレニ依テ此三條ニアル目的ヲ達シナセル様ニシタイモノデアルト云フ事デアリマシタガ、此法律ヲ通覽シテ見ルト云フト、ドウモソレノ裏ニナッテ居ル様ニ私ニハ見エルノデ、ソレヲ伺ヒタ、ナゼナラバテス那農會、府縣農會ト云フヤウナモノニナリマスカラ、ソレヲ養成シテソレガ成長スルヤウニシテ行カナケレバナラヌ、所謂苗ヲ養フモノデアッテ苗ヲ引キ抽クト云フヤリ方ヲスルヤウナ自然傾キガアッテハ、是ハ大ナル間違デアッテ、本當ノ町村農會ト云フモノハ發達スルコトハリマスカラ、ソレヲ養成シテソレガ成長スルヤウニシテ行カナケレバナラヌ、所謂苗ヲ養フモノデアッテ苗ヲ引キ抽クト通リニ行ケルカラ、是ハ餘程發達シクト云フ考ヲ持ツ人ガアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハホンマノ進歩デハナインデアル、ソレデ是等ノコトデハ私ハ甚ダ疑ヲ有ツテ居ル、ソレカラ是ハ私ノ或ハ讀ミ違ヒカモ知レマセヌガ、此費用デアリマスガ、日本農會ノ費用ハ府縣農會、府縣農會モ日本農會モ、ソレダケノモノヲ負擔スルト云フスルト特別會員ヲ行政官ガ命ズルコトガ出來ル、其特別會員ト云フ者ハ矢張他ノ會員ト同ジヤウニ役員ニナルコトが出來ルノデアル、ソレカラ斯ウ云フコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト思ヒマスノハ、農民ト云フモノハ極ク質朴ナモノデ、斯ウ云フ會ニ出テ議論ヲスルト云フヤウナコトハ多クハ出來ヌモノノデアリマス、是ハ農民バカリデハナイ、一般實業家ト云フモノハ、本省ヘデモ出テ或ハ調査會トカラシマシテヤシテ參リマシタコトノ概要デゴザイマス、唯事務ダケヲ申上げテ、法案ニ之ヲ特ニ掲ゲマシタ理由ヲ御説明申上げテ置キマス○服部一三君 私モ先刻仲小路サンノ心配シテ居ラレル強制徵収ト云フコトニハ、同ジヤウニ是ハムヅカシイコトデ、是ハ餘程紛亂ガ起ルコトデアラウト私ハ心配シテ居ルノデアリマシテ、今迄ノ統計ノ示ス所デハ、或ハ大概小サイ所ノ

モノハ皆納メテ居タデ、大キイ所ノモノガ納メナカッタ云フコトデアリマスルガ、又外ノ所モ御調ベニナリマシタナラバ、能ク御分リニナルデアリマセウカ、是ハ所得稅デア、テモ何稅デアッテモ、一番納メスモノハ大キイモノデアリマス、是ハ大阪デ御調ベニナッタ所デ、神戸デ御調ベニナッタ所リノ事デハアリマセス、ソレデ是ハ其方ヲ抑ヘル途ハ必ズシモ強制徵收ト云フ方法デハナシニ御考ヘニナル事ガ出來ルコトデアリハシナイカ、今度ノ法案ヲ見マスト會費ノ制限ハナリノハソンナモノデアリマス、是ハ決シテ農會バカラノ事デハアリマセス、ソレデ是ハ其方ヲ抑ヘル途ハ必ズシモ強制徵收ト云フ方法デハナシニ御考ヘニナル事ガ出來ルコトデアリハシナイカ、今度ノ法案ヲ見マスト會費ノ制限ハナイ、参考ノ爲ニ廻シテ下サッタ佛蘭西ノ方ニハ會費ニ制限ガアルヤウデアリマスガ、日本ニハ制限ガナイ、サウシテ農事ニ關係シテ居ル者ハ皆會員ト看做スノデアルカラ、大キイ者モ小サイ者モ皆サウデアリマスガ、其者共ハ今日ドウ云フ狀態デアルカト云フ、農村ノ農民ノ心理狀態ト云フモノハ非常ニ悪化シツツアル、今迄ソレ程苦痛ヲ感マジナカクモノガ、益々感ズル様ナ風ニナッテ居ル際デアリマスカラ、今迄納メテ居タ者モ隨分苦情ヲ云フ様ニモナルデアラウ、又今後色々事業ヲ擴張シテ行ク時分ニハ、農會ノ會費モ増シテ來ルデアラウト云フ事デアリマスカラ、是ハ餘程考ヲ要スル事デアルト思ヒマスルガ、此由ツテ來ル所ガ私ハチヨット農商務省デ立案ノ精神ニ付テ疑ヒガアリマスルガ、初メニ農商務次官カラノ御説明デハ、ドウゾ農會ノ如キハ農民ノ自覺、自治ノ精神ヲ發揚シテソレニ依テ此三條ニアル目的ヲ達シナセル様ニシタイモノデアルト云フ事デアリマシタガ、此法律ヲ通覽シテ見ルト云フト、ドウモソレノ裏ニナッテ居ル様ニ私ニハ見エルノデ、ソレヲ伺ヒタ、ナゼナラバテス那農會、府縣農會ト云フヤウナモノニナリマスカラ、ソレヲ養成シテソレガ成長スルヤウニシテ行カナケレバナラヌ、所謂苗ヲ養フモノデアッテ苗ヲ引キ抽クト云フヤリ方ヲスルヤウナ自然傾キガアッテハ、是ハ大ナル間違デアッテ、本當ノ町村農會ト云フモノハ發達スルコトハリマスカラ、ソレヲ養成シテソレガ成長スルヤウニシテ行カナケレバナラヌ、所謂苗ヲ養フモノデアッテ苗ヲ引キ抽クト通リニ行ケルカラ、是ハ餘程發達シクト云フ考ヲ持ツ人ガアルカモ知レマセヌケレドモ、ソレハホンマノ進歩デハナインデアル、ソレデ是等ノコトデハ私ハ甚ダ疑ヲ有ツテ居ル、ソレカラ是ハ私ノ或ハ讀ミ違ヒカモ知レマセヌガ、此費用デアリマスガ、日本農會ノ費用ハ府縣農會、府縣農會モ日本農會モ、ソレダケノモノヲ負擔スルト云フスルト特別會員ヲ行政官ガ命ズルコトガ出來ル、其特別會員ト云フ者ハ矢張他ノ會員ト同ジヤウニ役員ニナルコトが出來ルノデアル、ソレカラ斯ウ云フコトヲ御考ヘニナラナケレバナラヌト思ヒマスノハ、農民ト云フモノハ極ク質朴ナモノデ、斯ウ云フ會ニ出テ議論ヲスルト云フヤウナコトハ多クハ出來ヌモノノデアリマス、是ハ農民バカリデハナイ、一般實業家ト云フモノハ、本省ヘデモ出テ或ハ調査會トカラシマシテヤシテ參リマシタコトノ概要デゴザイマス、唯事務ダケヲ申上げテ、法案ニ之ヲ特ニ掲ゲマシタ理由ヲ御説明申上げテ置キマス○服部一三君 私モ先刻仲小路サンノ心配シテ居ラレル強制徵収ト云フコトニハ、同ジヤウニ是ハムヅカシイコトデ、是ハ餘程紛亂ガ起ルコトデアラウト私ハ心配シテ居ルノデアリマシテ、今迄ノ統計ノ示ス所デハ、或ハ大概小サイ所ノ

ヲシテ必要モアルカラ縣農會ヲ立テヤウヂヤナイカト云フ  
風ニズット立テ來タモノナラバ、是ハ自治ノ精神ニ出来タ  
ト云フテモ宜シイガ、是ハサウデハナイ上カラ抑被サッテル  
モノデアル、今日マテソレデ進ンデ來タデヤナイカト云フ  
御説明ガアルカモ知レマセヌガ、詰リ納メナイ人ガアレバ黙ッテ居  
村ノ農民バカリニ持ッテ行ッテ、ズット上方ノ於ヲ皆負擔ヲサ  
セテ置イテ之ヲ徵收スルト云フコトニナルト、徵收法ニ強制  
執行マデモスルト云フコトハ、ドウモ御考ヲ要スルコトノ  
ヤウニ思ヒマスノデ、先刻御説明ハアリマシタガ、尙ホ今ノ  
費用ナドノ點ニ付テモウ一度分ルヤウニ御説明ヲ願ヒマス  
○政府委員(田中隆三君) 中上ゲマスガ、根本ノ費用ノ所カ  
ラ先づ申上ゲマスガ、ソレハ御尋ノ通りデアリマシテ、先程  
申上ゲマシタ數字ハ一年アタリ一圓カラ一圓四十錢ト申シ  
マスノハ、其御心配ニナル全部費用ニナル譯デアリマス、其  
町村農會ノ負擔ノ上ニ郡農會ノ費用ヲ負担スルノデナイン  
デ、郡農會ノ費用ガ町村農會カラ出テ居ルノデアル、大變重  
イ負擔デモスルヤウニ見エマスガ、實際ノ點ヲ申シマスト  
負擔ノ高ハ多クナリマセヌノデ、一年ニ一圓何ホドト云フノ  
デスゾレカラ尙ホ將來經費ノ徵收等ニ付テ万一千圓ナ事  
ガアラテハナラヌト云フコトノ心配カラ、二十條總會ノ決議  
ヲ要スベキ事項ヲ掲ゲテ、或ハ事項ノ中ノ收支ノ豫算デア  
リマストカ、經費ノ分賦收入ノ方法、借入金ヲスルコト、會  
則ノ變更ヲスルコト、是ハ皆其管轄ヲスル行政官廳ノ許可  
ヲ要スルコトデ、勝手ニ決議シテ勝手ニ義務ヲ負ハセル、而  
モ強制徵收ヲスルト云フノデ、ザイマセス、認可ヲ受ケナ  
イデ徵收ナドノナイヤウナ途ヲ開イタ譯デアリマス、ソレ  
カラ假リニ此度ノ強制徵收ト云フコトヲヤリマシテ、ドウ  
ナルカト云フ問題ニナルト、是ハ裁判所ニ訴ヘナケレバナ  
ラヌ、併ナガラ裁判所ニ訴ヘルト云フトモニモナク判決  
ニ依フテ徵收サレル譯ニナル、農會ト云フモノハ斯ウ云フコ  
トハ宜シクナイト云フナラバ、是ハ別問題デアリマスケレ  
ドモ免ニ角農會ト云フモノ、成立ハ、農業上ノ改良發達ヲ  
圖ル必要機關ノ一ツデアル、又機關ノ出來タ以上ハ經費ハ  
相當要ルノデアリマスカラ、其經費ヲ取立ラルト云フ權利  
ハ何等カノ方法ニ依テ認メザルヲ得ヌノデ、今申上ゲマン  
タ通リ徵收ニ依テ之ヲ取立テルト云フコトニナル、併シ是  
ハ先刻申上ゲマシタ通り實ハ迷惑ナコトデアル、裁判所ノ  
コトハナカノ精シクナイト出來マセヌ、多クハ辯護士ニ  
頼ムトカ何トカ云フコトニナル、手續ガ煩雜デアリマシテ、  
ソレガ經費ヨリモ徵收費用ノ方ガ餘計掛ルヤウナコトデア  
リマス、是ハ迷惑ナコトデゴザイマスカラ、實際ニ於テハ裁判  
所ノ方法ニ依テ之ヲ徵收スルト云フコトハ、何處ノ農會  
デモ致シテ居ラヌヤウデアリマス、數多ノ中ニハ一二ノ例

ハアルカモ知レマセヌガ、詰リ納メナイ人ガアレバ黙ッテ居  
レバ之ヲ放任シテ置カナケレバ、ナラヌ結果ヲ來ス、而シテ  
其内容ニ至ツテ調べテ見マスルト、先刻申上ゲタヤウニドウ  
モ非常ニ困ニ居ル人ナラバ、デスガ、何デモナイ人ガ之ヲ授  
ゲヤリニシテ置クト云フヤウナ形勢ガアル、此際ニ簡便ナ  
コトニ依テ此徵收ノ途ヲ開キマシタナラバ、雙方デ便宜ヲ  
受ケテ、而モソレガ爲ニ特別ニ苦痛ヲ増スト云フコトハア  
ルマイ、ト云フ實際ノ場合カラ出テ來タノデアリマス吳、  
モ其徵收ガ出來ルト云フノデ費用ヲ餘計ヲ使フトカ、適切  
ナラザル施設ヲ企テルト云フコトハ是ハ前申上ゲタヤウ  
ニ此方法ニ依テ、特ニ此豫算ニ付テハ認可ヲ得セシメルノ  
デアリマス、サウンシテ始メテ效力ヲ有タシムルノデアリマ  
スカラ、此點ハ御心配ニナル程ノコトハアルマイ、斯ウ考ヘ  
テ居ル譯デアリマス

○委員長(侯爵佐佐木行忠君) 御諸リヲ致シマスガ、四時  
ニナリマシタカラマダ澤山御話ガアレバ次ニ……

○服部一三君 此次デモ宣シシノデス

○委員長(侯爵佐佐木行忠君) ソレデハ此程度デ散會イタ  
シマス

出席者左ノ如シ 午後四時一分散會

國務大臣	委員長	副委員長	委員	服部	山田
	侯爵佐佐木行忠君	玉利 喜造君	一一君	板倉 藤憲君	健之助君
				仲小路 康君	島津 敘君
農商務大臣	農商務次官	田中			
農商務書記官	忠篤君	隆三君			
石黒					

大正十一年三月十五日印刷

大正十一年三月十六日發行

貴族院  
秘書局

印刷者 印刷局